

## 令和8年9月定例市議会 市長行政報告

皆さん、おはようございます。

9月定例市議会の開会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の折にもかかわらず御参集をいただき、厚くお礼を申し上げます。

議案等の説明に先立ちまして、行政報告をさせていただきますが、まずは先般の私の入院の経緯について御報告いたします。

6月定例市議会初日の6月11日夕方に38度を超える熱があり、炎症による発熱と診断され、在宅で療養していました。しかし、症状が改善しないため、6月16日から入院することとなり、検査と抗生剤の投薬治療を続けました。その結果、前立腺炎と診断され、徐々に熱も下がり、7月2日に退院して翌週から公務に復帰いたしました。

この度の入院につきましては、議員の皆様をはじめ、市民の皆様に変御迷惑、御心配をおかけしましたことを、お詫びするとともに、今後、健康管理に十分留意しながら職務にあたって参りたいと存じます。

それでははじめに、総合計画の策定についてであります。

現行の総合計画は基本計画の計画期間が令和8年度をもって満了することから、次期計画の策定に向け、市民の皆様の声を丁寧にお伺いしながら準備を進めております。

7月17日からは、市内各地域において地域懇談会をスタートし、全10会場において159名の市民の皆様に御参加いただき、それぞれの地域が抱える課題や理想の地域に向けて必要な取組などについて様々な御意見をいただきました。

また、8月4日には高校生との意見交換会を開催し、市内4校の高校生14名の参加のもと、若い世代ならではの柔軟な発想や率直な視点から、まちづくりに対する御意見をいただきました。

さらに、7月27日及び8月21日には、たまの未来会議を開催し、市内在住又は在勤の20代～30代の方を中心に16名の委員にお集まりいただき、本市の将来像などについて御意見をいただきました。

こうした市民の皆様の思いを丁寧に聴きながら、玉野市の未来に確かな希望が持てる、実効性のある総合計画の策定を進めて参ります。

次に、国、県等に対する提案活動についてであります。

令和9年度重点施策提案につきましては、国に対しては大月議長にも御同行いただき、提案活動を行いました。

宇野港の整備・利用促進をはじめとした港湾機能の強化、海事産業への支援、通学路の安全確保など、本市が直面する重要課題について、7項目にわたり関係機関へ説明し、その実現に向けて強く働きかけを行いました。

今後も、地域の実情や現場の声を国、県にしっかりとお伝えし、本市の持続的な発展につながる施策の実現に向け、継続的に取り組んで参ります。

次に、晴れの国おかやま観光プレゼンテーションについてであります。

7月31日に開催された本イベントは、県内自治体が東京のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」に集い、特産品や観光資源など、地域の魅力を発信する場として開催されたものです。

本市からは私も参加し、瀬戸内産業芸術祭など新たな取組も含め、本市の魅力を旅行会社やメディア関係者をはじめとした出席者の皆様にプレゼンテーションを行いました。

今後もこうした機会を積極的に活用し、本市への観光誘客の促進、交流人口の拡大に取り組んで参ります。

次に、こども議会についてであります。

8月21日にこの議場において、市内中学校の生徒21名がこども議

員として登壇し、それぞれが日頃感じているまちの課題や将来への希望を踏まえた提言、質問をいただきました。

質問項目は観光戦略や交通環境の整備、災害に強いまちづくりなど多岐にわたり、子どもたちならではの率直かつ柔軟な意見は、次世代を担う若者の声として、大変貴重なものであったと受け止めております。

なお、こども議会開催にあたり、子どもたちの貴重な経験のために、議員の皆様をはじめ関係各位には御配慮いただき、心から感謝申し上げます。

次に、結婚支援の取組についてであります。

本市では結婚支援・少子化対策の一環として、出会いの機会の創出に注力しており、8月22日には、玉野地区労働福祉協会主催の「恋活パーティー」がチャリロトバンク玉野で開催され、独身男女28名の参加のもと、和やかな雰囲気の中で交流を深めていただきました。

9月27日には、市が主催する出会いイベント「海とアートと恋めぐり」の開催を予定しております。

これは、本市の魅力である瀬戸内海の風景や、アートのあるまちの雰囲気を活かし、参加者の皆様に楽しみながら新たな出会いを体験していただけるよう企画しているものであり、引き続き結婚を希望する若者の背中を後押しできるよう、取り組んで参ります。

次に、瀬戸内産業芸術祭についてであります。

本年10月3日から開催される瀬戸内産業芸術祭は、産業とアートの融合をコンセプトに、ものづくりの工場とアートを組み合わせた分散型美術館を目指すものであります。運営については、日本産業芸術財団が中心となり、本市に拠点を置くパワーエックス社をはじめとした瀬戸内エリアのものづくり企業など7社が参画する民間主導の新しい形の芸術祭であります。

造船をはじめ、ものづくりのまちとして発展してきた本市にとって、

この芸術祭は、これまで見慣れた工場の景色に新たな価値を見出し、まちの誇りとして再発見していただける素晴らしい機会になるものと大きな期待を寄せております。

本市といたしましては、産業とアートが融合することで生まれる玉野市の魅力を国内外に発信する絶好の機会と捉え、地域産業の活性化、観光振興、そして市民が「玉野に住んでよかった」と実感できる取組となることを願っており、広報活動や受入態勢の整備など、来訪者と芸術祭を繋ぐ役割を担って参りたいと考えております。

次に、コミュニティバス「シーバス」についてであります。

物価高騰による市民の皆様の負担軽減を図るとともに、日常的な利用のきっかけとしていただくため、7月18日から10月31日までの間、シーバスの運賃無料キャンペーンを実施しており、通勤、通学、通院など、様々な用途で御活用いただいております。なお、8月末時点の利用者数についてですが、昨年と同期間と比較し、2,431人増で約30%アップとなっております。

また、地域のニーズや実情に応じた公共交通の最適化を図るため、7月3日と8月18日に地域公共交通会議を開催し、シーバス路線等の見直しを行うことが決定されました。

10月からの実証運行におきまして、これらを反映した新たなダイヤ及び路線での運行を開始する予定としており、実証運行期間中の利用状況等を検証した上で、令和9年4月からの本格運行に繋げて参ります。

最後に、新庁舎整備についてであります。

市役所新庁舎は予定通り6月末に竣工し、8月29日には竣工式及び内覧会を開催いたしました。

今後は書類や備品等の移転作業を計画的に進め、9月24日から新庁舎において業務を開始する予定であります。

新庁舎は、災害発生時に地域の防災拠点としての役割を果たせるよう、

免震構造の採用や地盤のかさ上げを行うとともに、72時間の自立運転が可能な発電機を設置するなど、防災機能の強化を図っております。

また、市民サービスの一層の向上と業務の効率化に資するため、デジタル技術を活用した「書かない窓口」や「番号案内発券システム」を導入しております。

市民の皆様に安心して便利に御利用いただける庁舎として、しっかりと運用して参ります。

以上、行政報告をさせていただきましたが、本日から開会されます9月定例市議会においては、報告事項7件、予算議案2件、決算議案9件、条例議案6件、その他議案2件の合わせて26件を提案しております。

この後、報告事項及び各議案についての御説明をさせていただきますが、議員各位におかれましては、本会議及び常任委員会において御審議を賜りますようお願いを申し上げます。